

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	年に2回の火災訓練は実施しているが、その他の訓練として、原発避難訓練は行っている。最近の災害として、風水害が多く、施設周辺も水害の被害を受けやすい地域の為、避難経路の確認や訓練の実施の必要がある。	災害の種類に応じた訓練や避難経路の見直し、再確認をおこない、迅速な対応が出来るようになる。	①災害の種類に応じた避難経路の見える化 ②災害別の避難の手順作り ③災害別の避難訓練実施	12ヶ月
2	5	身体拘束防止委員会を3か月に1回実施し、同意書の確認や実施状況の評価、廃止に向けた話し合いを行っている。実際に件数は減っているが、完全に廃止出来ているわけではない。	身体拘束の完全廃止に向け、委員だけではなく、職員全員が身体拘束についての理解と廃止に取り組むようになる。	①身体拘束に関する勉強会の開催 ②委員を中心とし、拘束に替わる対応がないかを3か月おきのユニット会議時に話し合う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。